

伊奈町新庁舎移転計画策定等業務委託 プロポーザル審査評価基準

1. 評価基準の位置付け

本基準は、伊奈町新庁舎移転計画策定等業務委託にかかる公募型プロポーザル募集要項（以下「募集要項」という。）に基づき、評価点の算出方法及び受託者の選定方法を示すものである。

2. 評価方法及び受託者の選定

- (1) 実績評価、財務状況評価、価格評価及び業務提案書等評価を行い、受託者を選定する。
- (2) 実績評価、財務状況評価及び価格評価は、事務局が資料を基に審査を行う。
- (3) 業務提案評価は、「伊奈町新庁舎移転計画策定等業務に係るプロポーザル審査委員会」（以下「委員会」という。）が業務提案書及びプレゼンテーション、ヒアリングにより審査を行う。
- (4) 総合評価点の計算式は以下のとおりとする。

【評価審査表】

評価項目	評価配点	備考
実績評価	5 点	
財務状況評価	5 点	
価格評価	1 0 点	
業務提案書等評価	7 0 点	委員による審査
合計点	9 0 点	
総合評価点	6 3 0 点	9 0 点×委員 7 名

- (5) 各審査委員は、評価審査表の業務提案書等評価について評価を行い、参加者ごとの合計点を算出する。各審査委員の参加者ごとの合計点を基に順位をつけ、最も多く 1 位を獲得した者を受託候補者とする。また、1 位の数が同数の場合は、提案見積金額の低い参加者を受託候補者とする。なお、提案見積金額が同額の場合は、総合評価点が最も高い者を受託候補者とする。総合評価点が高同点の場合は、審査委員会の委員長が決することとする。
- (6) 総合評価点は 6 割以上でなければならない。総合評価点がこの基準に達しない場合は、受託候補者又は補欠候補者とししない。なお、参加者 1 者のみ場合であっても審査を実施し、総合評価点が 6 割以上の場合は、受託候補者とする。

3. 評価項目にかかる配点基準の明細

A. 実績評価【5 点】

参加者の同種業務実績（様式 3 ①）

同種業務の実績（実績の有無及び件数）について評価を行う。平成27年4月1日以降に完了した実績最大5件を1件当たり基本配点1点として、合計点数にて評価する。

基礎配点	区分係数	配点
1	件数（最大5件）×1＝配点	5

B. 財務状況評価【5点】

自己資本比率（様式3②）

経営の安定性について評価を行う。直近の決算における＜自己資本÷総資本＞の式で算出する。

自己資本比率	配点
70%～	5
40%～69%	4
20%～39%	3
10%～19%	2
～9%	1

C. 価格評価【10点】

提出された参考見積書に記載された見積金額（税込み）について、次の算出式により評価点を算出する。算出した評価点に端数が生じる場合は、少数点第1位を四捨五入する。

【見積書】※任意様式

評価項目	評価基準	配点
見積書	提出された参考見積書に記載された見積金額（税込み）について、次の算出式により評価点を算出する。算出した評価点に端数が生じる場合は、少数点第1位を四捨五入する。 (最低見積金額／提案見積額) × 10＝配点	10

D. 業務提案書評価【70点】

1. 事前審査

提出された業務提案書は、提案者番号を付した後、各審査委員へ事前配布する。この際、提案者名を付した上で、客観評価の資料を添付する。

2. 業務提案書評価方法

- (1) 業務提案書は、その内容についてプレゼンテーション及びヒアリングの結果を含め、本基準に基づいて委員会が評価する。
- (2) 評価項目及び評価基準、配点は以下のとおりとする。

【業務実施方針】（様式４－２）

評価項目	評価基準	配点
１．本業務に対する参加者の取組方針と体制	取組意欲の高さや積極性	５
	発注者を支援する姿勢、業務への工夫、配慮	５
２．各業務担当チームの特徴	担当者の技術力の高さ	５
	チーム配置の本業務への適正	５
３．業務上、特に配慮する事項（テーマ別業務提案を除く）	業務内容、業務の背景や課題などの理解度	５
	総合的見地からの考え方の的確性	５
業務実施方針に対する委員１人当たりの持ち点		３０

【業務提案（テーマ１，２）】（様式４－３）

評価項目	評価基準 (テーマ毎に評価する)	配点	
テーマ１ 本業務に対するマネジメント手法について	本業務の特徴を捉え、今までの経験と実績を活かした専門性や技術力の発揮が期待でき、テーマに対する的確性や実現性があり、業務や与条件に対し理解度の高い提案となっているかについて評価する。	的確性	１０
		実現性	１０
テーマ２ 文書や物品の削減・保管に係る課題について	新庁舎における文書や物品の削減・保管について、新しい手法の提案が的確性や実現性があり、業務や与条件に対し理解度の高い提案になっているかについて評価する。	適格性	１０
		実現性	１０
業務提案（２テーマ）に対する委員１人当たりの持ち点		４０	

（３）採点はプレゼンテーション及びヒアリング終了後、各委員が以下の評価水準に基づき評価を行う。

評価項目	評価水準	評価点
業務実施方針	業務実施方針が極めて優れている。	５
	業務実施方針が優れている。	４
	業務実施方針が適切である。	３
	業務実施方針がやや劣っている。	２
	業務実施方針が劣っている。	１

評価項目	評価水準	評価点
業務提案 (テーマ1, 2) に対する評価	具体的な提案の的確性・実現性が極めて良好である。	10
	具体的な提案の的確性・実現性が良好である。	8
	具体的な提案の的確性・実現性が十分である。	6
	具体的な提案の的確性・実現性がやや不十分である。	4
	具体的な提案の的確性・実現性が不十分である。	2